

第5回デイサービスセンターかおり 運営推進会議 議事録

日 時 : 平成31年2月20日水曜日 18時～19時30分
場 所 : デイサービスセンターかおり 食堂兼機能訓練室
テーマ : 在宅での看取りについて
参加者 : 松前町保険課職員1名・他事業所職員等7名・介護相談員2名・
利用者家族6名・事業所職員14名 合計30名

1. 開会の挨拶 理事長：盛次義隆

今回のテーマは看取り。かつて、自宅で逝くことは当たり前。大家族がその営みを支えていた。高度経済成長期に病院で亡くなるのが当たり前。ベルトコンベアーに乗るような死に方はだれも好まなくなっている。勝手の利く自宅での看取りがクローズアップされている。介護の問題、経済的な問題なども含めて、今日は話し合っていきたい。

2. テーマ：在宅でのみとり

発表者：デイサービスセンターかおり 生活相談員 盛次有希

出席者の皆様を3グループに分け、看取りをテーマに座談会形式で進行しました。テーマを漠然と「看取り」とするとなかなか会話も進まないため、パワーポイントにてDSかおりでの看取りの事例をお話ししながら、質問に対しての回答を皆さんで議論してもらう形式を取りました。

(ア) 自己紹介：看取りに関するエピソードを添えてもらいながら各自の看取りに対する思いを語ってもらいながら自己紹介してもらう。

(イ) 自宅で看とる＝大切な人の死を受け入れることであり、その大切な人の死をどのように考えるか振り返ってもらう。

(ウ) かおりで看取りをした人たちについての報告。35名の方を看取りさせてもらいました。

(エ) 在宅での看取りを可能にするために必要な事。それはサービスの導入です。何のサービスも使わず、ご家族だけの看取りは不可能だと思います。そして何より、自宅で最期まで看取る、という強い思いが本人とご家族に必要です。施設や病院が良いのか、自宅が良いのか？当然、自宅での最期が一番良いですし、誰もが望む事だと思います。しかし、大事な人が目の前で日に日に弱っていく姿を見て、家族が不安に思うのも当然、です。私達はご本人やご家族の思いに寄り添い、みんなが幸せに思える選択肢を作り、それを一緒に考えて選ばれるようなお手伝いしたいというかおり職員の思いを伝えました。それから実際の事例を報告。それをもとに皆さんの気持ちを語っていただきました。

(オ)最後に皆様からのアンケートを集計すると大きく3つの不安がある事が分かりました。

かおり流の回答を述べます

1位 介護と仕事の両立

ずばり、工夫次第でできます。私も主人も昼夜問わず仕事していますが、仕事量を減らすことなく認知症の祖母や癌末期の姑を看てきました。ただし、サービスはフルに使いました。そしてヘルパーさんが入ったからといって全てをヘルパーに任せず、どんどん意見を伝えました。通常「苦情」は言い難いものだと思います。しかし本人が「あのヘルパーが嫌い」と言っている場合は、申し訳ないけどCMさんや責任者の方にそれを伝えさせてもらいました。なぜなら、本人が「ヘルパー来なくていい」と言ったらおしまいなので、ヘルパーと上手く行かせるためには色々な意見を出しました。

また、本人に対しては過保護にならず、喧嘩も重ねました。本人が「大丈夫」と言っていることは信じて、完璧を求めないようにします。具体的には排泄です。

「大丈夫、トイレはちゃんと行ける」と言われても無理強いしては連れて行かず、「紙パンツにどうせ失禁するのだからなあ、仕方ない、後でヘルパーさんに変えてもらおう」と割り切りました。一番困ったのは、祖母が絨毯の上で排泄をすることでした。そうならないように毎晩見張ってトイレに連れて行くことは大変なので、排泄して汚されても洗えばいいタイルカーペットに交換し、汚れたときはヘルパーさんと一緒に掃除しよう、と割り切りました。これが大事です。

2位 家族での介護分担

しっかり家族会議をして下さい。ここでアドバイスですが、CMさんが作成するケアプランの第3表、週間予定表を見たことがありますか？要介護1の型のプランと要介護5看取りの方のプランを会では見比べてもらいました。圧倒的に入っているサービスの量が違うこと分かりました。つまり、それくらい、看取りの段階になるとサービスが工夫次第で沢山入ることが可能となります。そして、プランの中でも空白の時間帯、ノーサービスの時間帯をどう考えるのか？が重要になります。つまり、サービスが入らない時間帯は「1人で大丈夫」なのか、それとも「家族が寄り添うべき」なのかを見極めることが大事です。

どうか、CMさんにはその視点で評価・アセスメントをして看取りのプランは立てて欲しいと思います。

そしてご家族の皆様は、その空白の所を「1人で大丈夫」と思えないときは、誰が入るか、家族できっちり役割分担を組むべきです。

家族こそ、なあなあで役割分担をせず、誰がどの時間を担当するか明確にすべきです。

3位 介護方法が分からない

ぜひ、かおりに来てください。イベントのときに行っている「かおり参観日」にご参加下さい。普段もいつでも遊びに来てもらって大丈夫です。送迎時にうちのスタッフとドンドン関わってください。身体介護だけでなく、声掛けや心理的フォローなど見ているだけで真似できるヒントが沢山あります。

(カ)まとめ

介護は大変！ではなくて、介護は楽しい、と思える社会にするために今日もかおりは頑張ります、と皆様に誓いました。

3. 閉会の挨拶 デイサービスセンターかおり 管理者 二宮礼

最期とは、来てほしくはないけど、必ず来てしまうものです。

看取りとはその最期を迎えるための大切な時間です。

CMさんやヘルパーさん、我々はケアをさせてもらう側、ご本人様やご家族様はケアを利用される側ですが、みんなが(ああよかった)と思えるように協力させてください。

議事録文責：盛次有希